

母親大会を知っていますか？

1945 年、ヒロシマ・ナガサキの被爆に続き、1954 年のビキニ水爆実験で三たび死の灰の犠牲者を出した日本の母親たちが、「子どもたちを核戦争から守ろう」と原水爆禁止の運動を始めました。

この声は 平塚らいてう たちにより世界に伝えられ、世界母親大会がスイスのローザンヌで開かれました。日本代表を送り出すため、1955 年、東京で第 1 回日本母親大会が開催されました。

それから 70 年、「生命を生み出す母親は…」のスローガンのもとに、多くの団体・個人が毎年母親大会に集まり、問題を話し合い、行動をすすめています。

新座母親大会について

新座母親大会は年 1 回、市内の小中学校や公民館を会場に大会を開催してきました。

コロナ禍の影響で数年のブランクがありましたが、昨年 5 年ぶりに復活開催しました。母親たちを中心に広く市民が参加し、分科会や全体会で話し合いや学習を重ね、1975 年の第 1 回大会から、今年で第 46 回を迎えます。

今年は一部の講演と二部を設け、二部ではそれぞれのテーマで参加者が自由に自分の思い、考えを話し合える場としたいと思います。是非ご参加下さい。

全体会の講演について

今年の全体会の記念講演は、ICT教育についてです。

新座市は「公立学校情報化ランキング日本一」（日経BP2021）を誇り、ICT教育に力をいれています。ICT教育は「個別最適化」のメリットが謳われていますが、子どもたちの創造性の育成などに対する懸念もあります。またネット環境の家庭格差や、機材の導入や整備の巨額の費用、長時間使用による健康への悪影響、セキュリティの不安、など保護者の方からは様々な不安が指摘されています。

ICTが教育現場と子どもたちの成長にもたらす様々な影響について、お話いただきます。

新座母親大会の参加者について

母親だけでなく、父親、若もの、高齢者など、だれもが参加できます。

そして、幅広い参加者の、あらゆる立場や主義主張を大切にして、お互いの一致点を見つけあいながら、自由な話し合いが行われています。

第 46 回 新座母親大会実行委員会

地域実行委員(個人名は略) 新座市教職員組合 新座民主商工会 医療生協さいたま新座支部
新日本婦人の会新座支部 新座市学童保育支援員労働組合 新座市民主教育をすすめる会
年金者組合新座支部 埼玉土建新座支部 新座市職員労働組合 性と子育てを考える会
新座市学童保育の会